

まだまだ シーズン 真っ只中！！



そよかぜ保育園では、暖かくなるとどろんこ遊びを繰り返して行います。初めは、泣いてしまう子もいますが、慣れてくると全身泥んこになって楽しんでいきます。

まだまだ泥んこシーズンは続きます……が！

そもそも なぜ
どろんこ遊びをするのでしょうか？

水や砂、泥んこは子どもの働きかけによって、自由に变化する素材です。

水だけ、砂だけでも様々に形が変化しますが、それを混ぜ合わせることで固さや感触が変わるので、子どもにとって不思議で面白いもの。

⇒手指や道具を使うことを覚え、夢中になって遊べる素材です。

土に触れるとセロトニンという

リラックスホルモンが分泌されることも分かっており、

心も解放され

「思い切り遊んだ！」という感覚と共に、

積極的に遊べるようになっていきます。

崩したり、作ったりを繰り返すことは

想像力や集中力、工夫する力にもつながります。

また、自分から働きかけたことにより、変化していく様子を自分の身体と心で感じていく経験は、大きくなった時に、積極的にコミュニケーションをとり、友達関係を広げる力にもなるのです。



0 歳児期

お座りが出来るようになると、両手が自由に使って感触や素材の変化を楽しむ

1 歳児期

砂より水遊びが楽しい！蛇口から勢いよく出る水、飛び散る水がかかるのを喜ぶ
たらいやバケツに水を運んで、いっぱい入れてはこぼす遊びを沢山する

2 歳児期

砂と葉っぱ、小枝など違った素材・道具を組み合わせるイメージを膨らませる遊びへ…
達成感が味わえるような砂山登り、川作り、飛び込むなど身体を使って遊ぶ



3 歳児期

自分の身体・手を沢山使い、素材の変化を確認する
友達や保育士と関わりながら遊ぶ

4 歳児期

ダイナミックに遊ぶ
足腰、手指を使って動き回る時期
全身を使い仲間と協力し、一緒に楽しむ集団遊びの素材とする
アイデアを出し合い、役割分担しながら遊ぶ

5 歳児期

一人一人がイメージを膨らませ、そのイメージを友達と共有する中で、集団遊びが広がる

泥んこは、素肌に触れることで、皮膚が丈夫になったり、多少の雑菌に触れることは抵抗力をつけるなど、**健康な身体を作る**ことにもつながります。

服は汚れるし、洗濯も大変！ 雑菌なんて大丈夫なの！？

と、忙しいお母さんたちに日々ご協力いただいている洗濯物ですが、水洗いすると流れ出てくる茶色い汚れは、**いっぱい～つぱい楽しく遊んだ証！**

「今日も一日楽しく遊んだんだね」と声をかけてあげましょう。

そうは言ってもやっぱり「手間だし大変！」という方は泥んこ用に黒っぽい服をご用意いただければ、落ちにくい汚れも気にならないかもしれません。

そして、遊んだ後にはしっかりシャワーしてきれいにし、「さっぱりした！」という感覚も大切にしたいですね！



「今、この時」にしか経験できない

子どもの「楽しい！」を大切に…